

プログラム責任者からのメッセージ



災害・救急医療学
教授 宮内 雅人

救急科専門研修プログラムをご覧いただきありがとうございます。本プログラムでは、疾病の種類によらず、ためらうことなく速やかに診察を開始し、最良の医療を提供する能力を有する医師の養成を目指します。『どうしましたか』とすぐに対応することは勇気がいります。専門分野でなかったらどうしようなど、考えてしまうかもしれません。救急医は医の原点という言い方もありますが、様々なリスクを顧みず、勇気をもって患者に接する医師だと思います。高知大学医学部災害・救急医療学講座は新しい講座ですが、すでに4人の専攻医が在籍し充実した研修を行っています。

指導者で助教の竹内先生は高知県内の若手救急医の勉強会を積極的に開催するなど若手救急医のリーダー的存在です。2025年2月には新病棟が完成し救急病床もできます。研修で培った知識や経験を活かしながら、思う存分活躍していただきたいと思います。大学病院の医局だと堅苦しい印象があるかもしれませんが、そんなことは全くありません。本人の希望、事情など、十分に話し合いながら、救急専門医取得に向けて研修を進めていきたいと思っています。



プログラムの特色

本プログラム研修では、高知県内だけでなく様々な病院と連携しています。特に日本医科大学高度救命救急センターは完結型の救命救急センターで外科班、整形外科班、脳神経外科班、形成外科班に分かれて手術を含めた治療を行っています。ダブルボードやサブスペシャリティの取得など救急医としての将来を見据えた研修も行うことができます。多くの救急医と交流を深めながら将来の自分の救急医の姿を描いていただければと思っています。さらに国立国際医療研究センターは院内他科との連携によるER型の救命救急センターで年間1万1千台と都内一の救急車受け入れ数です。また高知県内においても高知医療センターでドクターヘリを含めた研修、地域医療最前線の幡多けんみん病院とも連携しています。将来的には専門医プログラムを修了した後もそれらの病院と連携して研修ができるようにしたいと思っています。

連携施設名等

	施設名	救急科領域関連 病院機能	指導者の取得専門医	救急車受け入れ (年間)
基幹 施設	高知大学医学部 附属病院	災害拠点病院	救急科／指導医・専門医 集中治療・熱傷・外傷専門医	約2,700
連携 施設	日本医科大学	高度救命救急センター 災害拠点病院	救急科／指導医・専門医11名 外科・脳神経外科・整形外科・形成外科 集中治療・熱傷・外傷専門医	約8,500
	国立国際医療 研究センター	救命救急センター 災害拠点病院	救急科／指導医・専門医 外科・脳神経外科・整形外科・形成外科 集中治療・熱傷・外傷専門医	約11,000
	高知 医療センター	救命救急センター 基幹災害拠点病院	救急科／指導医・専門医	約4,600
	幡多 けんみん病院	災害拠点病院	診療科専門医	約2,900

専攻医
週間スケジュール

高知大学医学部
附属病院の例

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30		日本医大と web抄読会					
～9:00	カンファレンス					月1回程度の日勤	
9:00～17:15	ER・病棟対応・週1回程度の夜勤(翌日休み)						
17:15～	週1回の夜勤(翌日休み)						

専門医取得までの
タイムスケジュール

専攻医4人の
研修スケジュール予定表

※ 国内 日本医科大学もしくは
国立国際医療
研究センター

地域 幡多けんみん病院

	専攻医1年目				専攻医2年目				専攻医3年目			
月	4.5.6	7.8.9	10.11.12	1.2.3	4.5.6	7.8.9	10.11.12	1.2.3	4.5.6	7.8.9	10.11.12	1.2.3
A:Dr	大学	医療C	医療C	大学 ICU	国内	国内	国内	大学 (病棟)	大学 (病棟)	大学 (病棟)	地域	地域
B:Dr	大学	大学	大学	医療C	医療C	地域	大学 (小児)	大学	国内	国内	国内	大学
					専攻医1年目				専攻医2年目			
C:Dr					大学	大学	大学	大学	医療C	医療C	大学	地域
D:Dr					大学	大学	医療C	医療C	大学	大学	大学	大学

取得可能専門医

- ダブルボード ● 外科専門医(救急と合わせて5年で取得可能) ● 脳神経外科専門医
● 整形外科専門医 ● 形成外科専門医(日本医科大との連携) 等
- サブスペシャリティ ● 集中治療専門医 ● 消化器内視鏡専門医 ● 熱傷専門医
● 中毒専門医等 等



問い合わせ先

■ 教室名／災害・救急医療学
■ 担当者名／宮内 雅人(教授)
ミヤウチ マサト

■ 電話／088-880-2286
■ メール／im68@kochi-u.ac.jp